

時事テーマ出題予想 講義

講師 アガルートアカデミー 田島圭祐

1. 核戦争

一 戦後の核拡散の歴史

①戦後の核保有国

- ・ 1949 年ソ連が原爆実験を成功させ核保有国になる。
- ・ 1952 年アメリカが原爆よりも威力が強い**水爆実験を成功**させる。
- ・ 1952 年イギリスが核を保有する。
- ・ 1960 年にフランスが独自の核実験により核を保有。
- ・ 1964 年にアメリカやソ連へ対抗するために**中国が核兵器を保有**。
- ・ 1974 年インドが核保有国となる。
- ・ 1998 年インドに対抗してパキスタンが核保有国となる。
- ・ 1998 年に北朝鮮がパキスタン国内において核実験を行い、核保有国となる。

②核保有の疑いがある国

- ・ イスラエル・イラン・シリア・ミャンマー。

③かつての核保有国

- ・ ウクライナは 1996 年までに核を国内の親ロシア派主導でロシアへ移管した。
- ・ ベラルーシ 1996 年までにすべての核兵器をロシアへ移管した。
- ・ カザフスタン 1995 年までにすべての核兵器をロシアに移管した。
- ・ 南アフリカは 1990 年に核兵器をすべて廃絶した。

二 戦後の世界の核抑止

①**部分的核実験禁止条約 (PTBT)** 1963 年締結

- ・ 1962 年のキューバ危機をきっかけに、1963 年にアメリカとソ連が主導で、PTBT が締結された。

②核兵器不拡散条約 (NPT) 1968 年締結

- ・ 核兵器保有を米・英・仏・ソ・中に限定して、その他の国の核開発や核保有を認めず。

③**包括的核実験禁止条約 (CTBT)** 1996 年国連総会で採択→未発効

- ・ 核爆発を伴う全ての核兵器の実験の禁止。アメリカがボイコットするなど未発効。

④核兵器禁止条約 (2017 年)

- ・ 前文に核兵器使用によって犠牲になった人々 (Hibakusha) を明記。
- ・ 条約成立には NGO 核兵器国際キャンペーンが (ICAN) が貢献した。
- ・ アメリカ、フランス、イギリス、**日本は参加せず**。